

第10回大和郡山病院 地域協議会

開催日時 令和2年10月29日(木) 14:00~15:40

場 所 大和郡山病院3階講義室

- 議 題
- 1 活動状況報告
 - 2 病院状況報告
 - 3 意見交換会

出席者 外部委員

大和郡山市医師会長 松本光弘、大和郡山市歯科医師会長 大野忠彦、
大和郡山市薬剤師会長 倉岡伸次、大和郡山市福祉健康づくり部長 富田豊、
大和郡山市福祉健康づくり部地域包括ケア推進課長 釜谷宗宏、
大和郡山市医師会訪問看護ステーションやすらぎ管理者 増井香里、
患者・患者家族代表 野田和世

院内委員

院長 松村正彦、副院長 北大路正顕、副院長(兼)地域医療連携室長 松下光伸
事務部長 白倉直樹、看護部長 久門容子、副看護部長 福永直美
訪問看護ステーション看護師長 諸越真理子、主任医療社会事業専門員 砂原直美
総務企画課長 前田昌宏、経理課長 米田秀道

(順不同、敬称略)

・開催の挨拶(松村院長)

本日は、活動状況報告「本院における大腸内視鏡検査の現状」を副院長松下光伸に報告してもらい、病院状況報告「大和郡山病院の新型コロナウイルス感染症の対応について」を呼吸器内科部長櫻本稔に報告してもらいます。当院は、皆様のご支援をいただいて病院運営をしております。病院への忌憚のないご意見をいただき、当院を皆様から信頼のいただける病院として、さらに発展させ、今後の病院運営に活かしたいと思っております。

・委員の紹介

・議題

- 1 活動状況報告 副院長(消化器内科) 松下 光伸
「本院における大腸内視鏡検査の現状」
- 2 病院状況報告 呼吸器内科部長 櫻本 稔
「大和郡山病院の新型コロナウイルス感染症の対応について」

・意見交換会

松本医師会長

- ・大腸がんは、良性ポリープが1センチ以上になると癌化していく可能性が高くなるが、1cm未満のポリープが癌化していく確率はどうなのか。
- 7、8ミリのポリープが進行癌になるのは5年前後との報告がある。一度ポリープが発生した人はできやすい体質であるため、2、3年に一度検査をしていただきたい。大腸がんは、早く発見すれば根治する病気である。現在は、経過観察より切除する方が多い。

- ・新型コロナウイルス感染治療にレムデシビルが本当に効果があるのかと言われているがどうか。
- 全員に急激に効果があるかどうかはわからない。
- ・新型コロナウイルス感染に一番不安を抱いている高齢者を社会全体として支えていかないといけない。インフルエンザの流行期を乗り越えるための体制も整えている。地域の方々の健康と安全を守って頂きたい。

大野歯科医師会長

- ・誤嚥により食道に落ちた入歯の場合、以前は一晩様子を見ていたが現在はどうか。
- 現在はすぐに内視鏡で取り出すことが主流。医科歯科を更に連携強化する。

倉岡薬剤師会長

- ・最近大腸がん患者が増えているとマスコミ等で聞いているが、10年前と比べて患者数はどのくらい増えているのか。
- 具体的には把握はしていないが増えている。機器等の進歩により発見され増えているのも要因のひとつである。
- ・新型コロナ感染症等により経営的に影響があるのか。
- 4、5月では、患者数20%減であったが、100%まではいかないがほぼ戻りつつある。

富田福祉健康づくり部長

- ・PCR検査等受入れに感謝している。

釜谷福祉健康づくり部地域包括ケア推進課長

- ・より一層役立つ健康づくりのガイドブックを活用してもらうように作成するにあたり、大腸がん検診を受けるにあたり、日頃から注意することはあるのか。
- 定期的に検査をお願いしたい。症状が無い時に検査を受けた方がよい。

増井訪問看護ステーションやすらぎ管理者

- ・介護をしている中で、レスパイト入院がありがたい。新型コロナウイルス感染症により入院を迷われている方もおられた。貴院が感染対策をきっちりと取っておられるのを確認したことで安心して勧められる。情報提供をさせて頂く。

野田患者・患者家族代表

- ・家族ともどもお世話になっている。安心して住める地域である事をうれしく思う。

事務部長

- 当院のモットーである断らない病院であるため、出来る限りのことをさせていただきますので、これからもよろしくお願いします。

閉会の挨拶（北大路副院長）

地域協議会にお集まり頂きましてありがとうございます。

今日頂きましたご意見は参考にさせて頂きまして、地域医療の充実に貢献いたします。

以上

